

|    |                                                                                           |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 46 | できれば更新したいとは思っているが、取得前後で大きく変わったところもなく、更新するためのSVや研修等が十分できておらず自分はその能力にないのではないかと考えたりしているため検討中 |
| 47 | 認定申請にかかる時間の確保と提出書類の煩雑さ                                                                    |
| 48 | 高齢であること、認定資格のもつ意義・評価があまり得られないため                                                           |
| 49 | 更新したいと思いますが、スーパービジョンを受ける機会をえるのが難しいため                                                      |
| 50 | 親の介護があり、活動する時間の確保が難しい。更新しても、メリットが分かりにくい                                                   |
| 51 | 他の資格の継続研修の受講がある。もうすぐ後期高齢者になる。認定の研修要件をクリアできる時間と体力が心配                                       |
| 52 | メリットが現時点では感じられないため                                                                        |

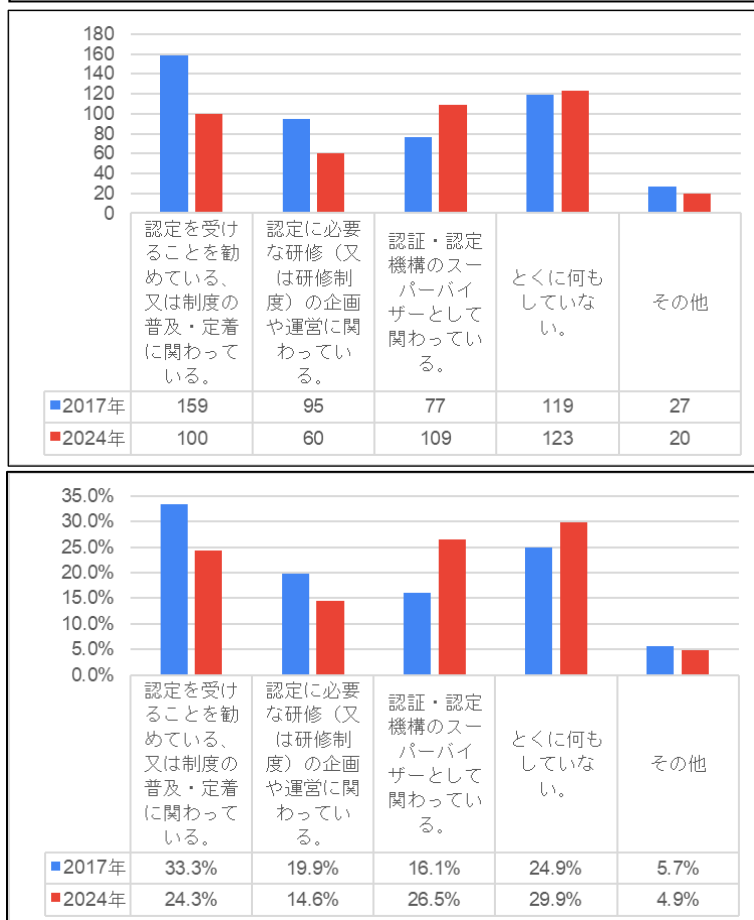
## 第Ⅶ章認定を受けていない社会福祉士に対しての関わり

調査項目の大項目Ⅶについては、認定社会福祉士が、現在、認定を受けていない社会福祉士に対してどのように関わっているかについて確認しました。

### Ⅶ. 認定を受けていない社会福祉士に対しての関わり

#### <結果>

2017年調査との比較では、「認定を受けることを勧めている又は制度の普及・定着に関わっている」と回答が減少している。しかし、「認証・認定機能のスーパーバイザーとして関わっている」割合が高くなっている。また、2024年調査では「とくに何もしていない」の回答の割合も高い。



## 第Ⅷ章認証・認定機構による認定制度運営の全般について

最後の調査項目の大項目Ⅷについては、認証・認定機構による認定制度運営に関することについて、普段、考えていることや提案したいこと（アイデア・方法・アクション等）について、記述で回答を求めました。